

福山市教育委員会会議（第11回）議事日程

2021年（令和3年）1月20日

午後2時 於：教育委員室

日程第1 教育委員会会議録の承認について

日程第2 教育長の報告について

- | | |
|---|---|
| 1 教育長報告 | 1 |
| 2 学校の主体性と創意工夫による「福山100NEN教育」の
更なる推進について ～指導・支援体制の充実に向けて～ | 2 |
| 3 学校再編に伴う開校準備委員会の設置について | 4 |

* 日程第3 議第65号 審査請求に係る補正等について

* は非公開予定

1 教育長報告

12月	24日	木	
	25日	金	表敬訪問〔福山市軟式野球連盟学童部会〕
	26日	土	新市中央中学校区地域説明会（新市公民館）
	27日	日	
	28日	月	
	29日	火	
	30日	水	
	31日	木	
1月	1日	金	
	2日	土	
	3日	日	
	4日	月	新年互礼会（福山ニューキャッスルホテル）
	5日	火	校長会講話（オンライン）
	6日	水	学校訪問・校長等協議〔山南小〕
	7日	木	
	8日	金	訪問（株式会社メディアテック一心）
	9日	土	
	10日	日	
	11日	月	
	12日	火	学校訪問・校長等協議〔駅家中〕 第2回携帯電話等に係る啓発活動推進会議（オンライン）
	13日	水	学校訪問・校長等協議（蔵王小）
	14日	木	学校図書館リニューアル完成式（網引小） 学校訪問・校長等協議（湯田小）
	15日	金	学校訪問・校長等協議（向丘中，坪生小） 学校訪問（常石小）
	16日	土	
	17日	日	
	18日	月	広島県教員等資質向上協議会（オンライン）
	19日	火	開校準備委員会（新市公民館）
	20日	水	学校訪問・校長等協議（泉小） 第11回教育委員会会議

2 学校の主体性と創意工夫による「福山100NEN教育」の更なる推進について ～指導・支援体制の充実に向けて～

(1) 趣旨

2020年(令和2年)11月5日付けで、市長から、「新学習指導要領に対応するために校長に求められる変革に関し、教育委員会の求めに十分対応しきれていない校長がいると同時に、そうした校長に対するサポートや校長からの相談に対応する適切な指導体制が必ずしも十分でないことから、より適切な相談・指導体制の構築に努めるよう」通知を受けたところである。

教育委員会としては、その通知を真摯に受け止め、「福山100NEN教育」6年目となる2021年(令和3年)は、これまでの取組も踏まえ、校長が、より主体的・創造的な学校経営を行えるよう、指導・支援体制の充実を図ることとする。

(2) これまでの取組と成果

教育委員会では、国の新学習指導要領の議論を踏まえ、2016年(平成28年)1月に宣言した、「福山100NEN教育の推進」を基本理念に、「子ども主体の学び」づくりの取組をスタートした。具体的には、日々の授業を中心として、子どもたちに、これまでの「何を知っているか」ではなく、「知識を活用し、協働して新たな価値観を生み出せるか」ということ、さらには、課題発見・解決力、挑戦する力、粘り強さや忍耐力、コミュニケーション能力などの資質・能力を身に付けさせることを目指し、各学校現場で工夫した取組が進められていくよう、支援している。

特に、校長には、相当な覚悟を持ってリーダーシップを発揮し、従来の教育を変革してもらう必要があることから、教育委員会としては、校長研修や校長面談、学校訪問、各種研修等に継続的に取り組んできた。

その結果、2018年度(平成30年度)、2019年度(平成31年度)において、校長を始めとした教員を対象に実施した、子ども主体の学びづくりの取組などに関するアンケートにおいて、7、8割の校長から肯定的かつ積極的な回答がなされており、多くの学校において、確実に、日々の授業や教育活動が子ども主体へと変わっていることがうかがわれる。また、それらの校長からは、「学校の意思を尊重してもらい、思い切った挑戦ができています。」といった意見がある。

教育委員会としては、各校それぞれの状況の中で、「子どもの学び」を中心に据えた議論が始まり、日々の授業や教育活動が子ども主体へと変わってきているものと認識している。

(3) 課題と改善策

しかしながら、市長通知において指摘がなされたように、未だに、新学習指導要領に対応するために校長に求められる変革に関し、十分対応しきれていない校長が存在しているという課題がある。

そこで、すべての学校において、子どもたちが新学習指導要領に基づいた授業により、確かな学びにつなげていくため、次のとおり、教育の変革に対する理解・取組が十分でない校長に対する指導・助言を充実させると共に、新たな指導・支援策を講じることとする。

ア 校長等研修

従来から、外部講師による理論研修、授業に基づく実践研修や一斉研修を計画的に行ってきたところであるが、これらを次のように発展させる。

- (ア) 外部機関と連携し、経営戦略や人材・組織等に係るマネジメント研修を実施し、校長のマネジメント力向上を図る。
- (イ) 毎月、小中それぞれのブロック別での校長研修を実施することによって、各学校の状況に則した理論研修や取組の交流等を行う。
- (ウ) 「福山100NEN教育」の仕組みや具体的取組に学校の意見を反映させるため、希望する教職員を募り、授業づくりや教職員研修、働き方改革やICT活用などをテーマにアイデアを出し合う研修を計画的に行い、校長の意識的・主体的な参加を促す。

イ 状況把握及び相談・指導体制

従来から、学校指導員を相談窓口として、日常的な学校経営に関する指導・助言を行うと共に、日時、場所、対象者、内容等、学校の希望に応じ、教育長や指導主事等の学校訪問を実施してきたところであるが、これらに加えて、次の取組を実施する。

- (ア) 各学校の状況に応じた課題を把握し、それを具体的な解決につなげることを目的とした、学校指導員等による学校訪問を実施する。学校訪問により把握した課題については、内容に応じて、指導主事や管理主事等の中から支援チームを編成し、課題の内容や要因を整理しながら解決を図る。
- (イ) 年3回の校長面談に新たに管理部も加わり、教育内容、予算執行、環境整備等、多様な視点での指導・助言を行う。その際、広島県教育委員会が策定予定の「教員等資質向上指標（校長）」に基づく自己評価及び他者（指導主事等）評価を実施することによって、校長の資質・能力の向上を図る。

ウ 情報の共有化及び施策への反映

従来から、学びの理解につながる情報（外部研修の案内、講演の紹介、授業での子どもの姿等）を、校務支援システムに掲示し、いつでも閲覧できるようにしてきたところであるが、上記の指導・支援策の内容も踏まえた情報の提供や、各校の取組を教育委員会ホームページに掲載し、校長同士が互いに切磋琢磨できるような情報の共有化に取り組んでいく。

また、これらの指導・支援策の評価を行うとともに、指導・支援を行う過程で明らかになった課題については、教育委員会において、必要に応じて検討し、すべての校長と情報を共有し、施策に反映する。

3 学校再編に伴う開校準備委員会の設置について

(1) 設置

福山市立常金中学校及び新市中央中学校を再編し、2022年（令和4年）4月に新たな学校を設置するに当たり、開校に向けて必要な事項を協議するため、2021年（令和3年）1月19日に、開校準備委員会を設置した。

(2) 協議事項

校名、校歌、校章、通学、服装、PTA、地域連携その他開校に関する必要な事項

(3) 委員会の構成

再編対象校の保護者及び地域住民の代表者、校長並びに教育委員会事務局管理部長（29人）

(4) 開催状況

ア 第1回 1月19日

イ 内容

- ・委員長及び副委員長の選出
- ・協議スケジュールの確認
- ・部会の設置
通学等部会、PTA部会、地域連携部会
- ・校名について

(参考)

開校までの主な取組

年 度	内 容
2020年度 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none">・開校準備委員会の開催・協議・生徒の交流事業の実施・教育課程の編成・学校運営に係る協議・校舎等改修設計
2021年度 (令和3年度)	上記に加え <ul style="list-style-type: none">・学校説明会・備品等整備・校舎等改修工事（～2022年度（令和4年度））